

□3月30日説教(隅野徹牧師)短縮版「人々が御業を ほめたたえられるように」(詩編145:1〜21)

フォアマンはアリとのチャンピオン戦に敗れたあたりから、少しずつ、神の存在を意識するようになったようです。その後チャンピオン返り咲きを目指し、プエルトリコでジミーヤングと戦ったフォアマンは、判定負けをした試合後倒れこみ気を失ったのですが、そこで神秘的体験をするのです。その後、聖書を詳しく読み始めた彼が「そっくりだ」と証言しましたが、もともとキリストを迫害していた使徒パウロが、ダマスコで倒れてキリスト自身の声を聞き、全く逆の人生をスタートさせた、いわゆるダマスコの回心と同じことがフォアマンに起こったのです。キリストに出会うという神秘的体験をしたフォアマンは、凶暴で愛のない世界から抜けて「神の愛のもとで生きたい」と決心するにいたったのです。

キリストに出会って生まれ変わったので、プロボクサーを引退すると宣言したフォアマンを、マスコミやファンは変人扱いしました。それでも教会に集う人たちは、彼の体験を「キリストが罪から救い出すために、直接あってくださったのだ」といって喜び、祝福したのです。そして彼はキリストの名によって洗礼を受けました。フォアマンは富や名声がどうでもよいと思うようになり、教会の仲間と共に生き始めるようになったのです。困っている人がいたら一人間として助ける。そして他の信徒たちと同じように自分の教会や街中で、自分を罪から救い出してくれたイエス・キリストについて、力強く証しをするようになりました。詩編145編の5節に「あなたの輝き、栄光と威光、驚くべき御の数々をわたしは歌います。」とある通り、フォアマンは自分におきた「神の、キリストによる救いの業」を証しし、先日天へと凱旋しました。

フォアマンがそうであったように、同じく罪人のわたしたちを、それでも神は見捨てず、救われる道を与えて下さるのです。19節に「主を畏れる人々の望みをかなえ、叫びを聞いて救ってくださいます」とある通りです。私たちの罪を背負って死んで下さった神の子イエス・キリストが、死の力を打ち破って復活してくださったことによって、イエスを救い主として信じる者すべてが、同じように復活の命に与ることが出来る道が開かれたのです。私たちもそのことを喜び歌いましょう。(終)